

令和元年度 地域福祉の推進に向けたシンポジウム
「分野を超えた相談支援体制づくり～地域共生社会の実現のために～」
実施結果

■開催概要

日時 令和元年 8 月 26 日（月曜日） 午後 1 時 30 分から 4 時 30 分まで

場所 東京都健康プラザ ハイジア

内容	<p>基調講演 分野を超えた相談支援に向けて行政に求められること 講演者 室田 信一 氏 （首都大学東京准教授・東京都地域福祉支援計画推進委員会委員）</p> <p>事例発表 目黒区 狛江市</p> <p>パネルディスカッション コーディネーター 小林 良二 氏 （東京都立大学名誉教授・東京都地域福祉支援計画推進委員会委員長）</p> <p>パネリスト 室田 信一 氏 事例発表自治体関係者</p> <p>参加者との意見交換</p>
----	---

■申込・出欠状況

事前申込者数	106 名	区市町村 63、社協 31、都庁 7、厚生労働省 5
（うち）参加者数	94 名	区市町村 53、社協 29、都庁 7、厚生労働省 5
当日参加者数	3 名	区市町村 3
最終参加者数	97 名	

■参加者アンケート結果（回収数 83/97（回収率 85.6%））

1 本日のシンポジウムについてご感想をお聞かせください。

◆ 全体を通して

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	29	(35%)
参考になった	50	(60%)
あまり参考にならなかった	3	(4%)
参考にならなかった	0	(0%)
(無回答)	1	(1%)
合計	83	(100%)

(主な自由記述)

内容
相談支援包括化推進員の配置についてなど、市における体制の違いが勉強になりました。
関わる機関の内容・実績も大切だが、グランドデザインを担う行政の方々の本気さ・やる気が関係機関の業務内容、意識にもつながってくると思った。
CSW の設置等、今後検討していく材料になりました。
考える契機になりました。
当市の相談支援の包括化に向けたヒントをいただけたと思います。

◆ 基調講演

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	24	(29%)
参考になった	52	(63%)
あまり参考にならなかった	5	(6%)
参考にならなかった	0	(0%)
(無回答)	2	(2%)
合計	83	(100%)

(主な自由記述)

内容
断らない相談や伴走支援について、わかりやすい説明で問題点がよくわかりました。
現場の感覚に沿った内容だと思いました。
事例発表の理解にとっても役立った。
論点の整理という講師の意図どおりよく整理されており、今後の参考にもなりそうだと感じた。

◆ 事例発表

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	34	(41%)
参考になった	43	(52%)
あまり参考にならなかった	5	(6%)
参考にならなかった	0	(0%)
(無回答)	1	(1%)
合計	83	(100%)

(主な自由記述)

内容
総合相談窓口の設置を目指しているため、経過がわかり参考になった。生活支援コーディネーターから CSW の配置へと切り替える検討中です。
行政の方のビジョン・想いが発表からも伝わってきました。
行政の SW がここまで具体的イメージをもって組織をつくるのが素晴らしいと思いました。
目黒区の先駆的取組が参考になりました。庁内の熱意を盛り上げる仕組みも大事と感じました。
両自治体とも様々な苦勞のもと取り組まれており、励みになりました。
目黒区では庁内における連携された相談支援体制のみで、インフォーマルサービスへどうつなげているのかわからなかった。狛江市は行政と社協での取組の説明であったが、時間的に短くいまひとつわかりにくかった。

◆ パネルディスカッション

選択肢	回答数	(割合)
とても参考になった	31	(37%)
参考になった	42	(51%)
あまり参考にならなかった	3	(4%)
参考にならなかった	0	(0%)
(無回答)	7	(8%)
合計	83	(100%)

(主な自由記述)

内容
各自治体が工夫されている点が、先生方のご質問により鮮明になり、大変参考になりました。
生活困窮者自立支援事業との連携について触れられてもよかったと思います。
なかなかこのような場で質問するのは難しいところもあるので、質問票のようなものの方が聞きやすいと思います。
質問のやりとりが少なかったので、想定問答のように理想像を意見交換できる内容にした方がよいのではないかと。

2 シンポジウムの開催時期についてご意見をお聞かせください。

選択肢	回答数	(割合)
もっと早い時期の開催がよい	3	(3%)
ちょうどよい	71	(86%)
もっと遅い時期の開催がよい	3	(3%)
(無回答)	6	(7%)
合計	83	(100%)

(「もっと早いまたは遅い時期がよい」と回答した方が望む時期)
6~7月頃 (2名)、10~11月頃 (3名)

→ 次年度予算編成を意識した時期設定を望む声が複数ある一方、新任職員の参加のために遅い開催時期を望む声もあった。

3 シンポジウムの開催時間についてご意見をお聞かせください。

選択肢	回答数	(割合)
もっと短い方がよい	5	(6%)
ちょうどよい	71	(86%)
もっと長い方がよい	3	(3%)
(無回答)	4	(5%)
合計	83	(100%)

4 シンポジウムの構成や実施形態についてご意見をお聞かせください。(複数回答可)

選択肢	回答数	(割合)
このままでよい	44	(56%)
学識経験者等による講演があるとよい	10	(13%)
参加者間の意見交換の場(グループワーク等)があるとよい	18	(23%)
その他	6	(8%)
合計	78	(100%)

(「その他」回答など)

- ・ 発表側から参加者へ質問するというのも面白いと思いました。
- ・ 事前に指定された近隣や振り分けられた自治体とのグループワークよりも、今回のような形式の意見交換、質疑の方がよいです。
- ・ 規模の大きい自治体の取組事例を紹介してほしい。(2名)

5 今後取り上げてほしいテーマや具体的な取組事例があればご記入ください。

- ・ ひきこもり・8050問題（4名）
- ・ 狭間の支援の具体的事例
- ・ 法の狭間にいる、障害がある方への支援、資源に関して
- ・ 全庁をあげた地域共生社会の推進の在り方について
- ・ 子ども、健康推進とも連携している自治体があれば提供してほしい。
- ・ 子どもの貧困について組織的な対応
- ・ 外国人、LGBT
- ・ 地域福祉コーディネーターの具体的な活動事例・実践・実績
- ・ CSW 展開後の取組事例、失敗例など
- ・ CSW 及び地域福祉コーディネーターのバックアップ体制をどうつくっているのか
- ・ 包括支援センターの役割、強化の具体例
- ・ 社協などの団体と行政の連携（うまくいく方法）
- ・ 組織改正に向けた事例発表など、行政と社協連携の取組事例
- ・ 指標や進行管理について
- ・ 地域とのかかわり、地域づくりについて
- ・ 住民の参加支援の手法、人材育成の方法（2名）
- ・ 国の動きなどについてもあわせて情報提供いただきたい。
- ・ 引き続き同じテーマでお願いします。

6 その他お気づきの点などがありましたらご記入ください。

- ・ 地域包括の後方支援として、行政が総合的な問題解決を行う目黒区の取組は大変すばらしいと思った。我が区は包括に丸投げです。
- ・ ケースが蓄積されたら共有できるといいです。